

# 平成18年3月期 決算説明資料



株式会社フジトミ



JASDAQ上場：証券コード8740

# 目次

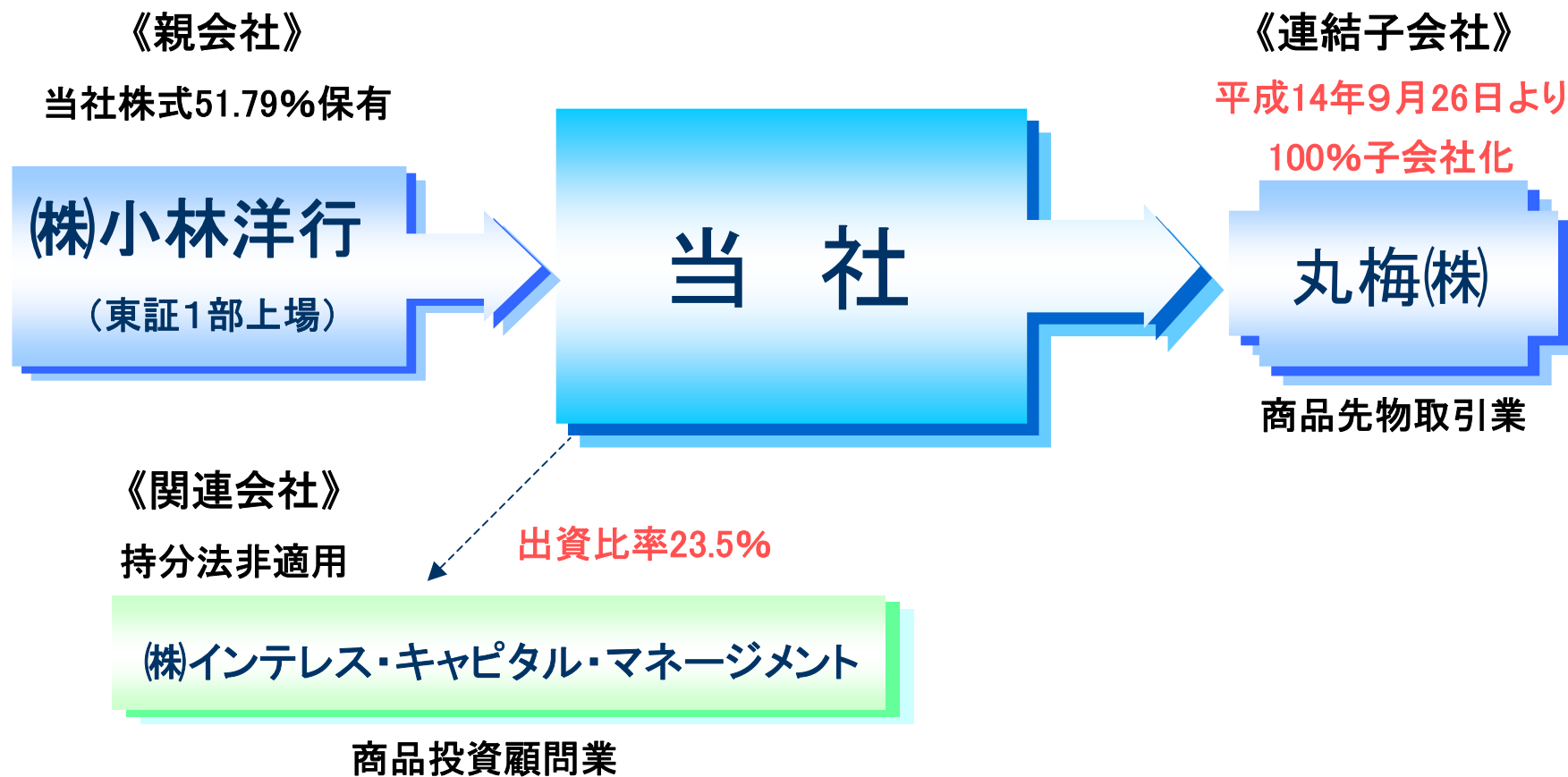
グループ概要	...	1
事業所	...	2
平成18年3月期決算について／表紙	...	3
平成18年3月期決算の概要	...	4
業績概況(連結)	...	5
業績概況(個別)	...	6
貸借対照表(連結)	...	7
貸借対照表(個別)	...	8
業績推移(連結)	...	9
＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)	...	10
四半期ごとの営業収益の推移(連結)	...	11
＜商品先物取引＞営業収益の市場別内訳(連結)	...	12
＜外国為替証拠金取引＞営業収益の推移	...	13
平成19年3月期業績予想について／表紙	...	14
平成19年3月期業績予想(連結・個別)	...	15
平成19年3月期業績予想について	...	16
当社の取り組み	...	17

本資料は、平成18年3月期の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

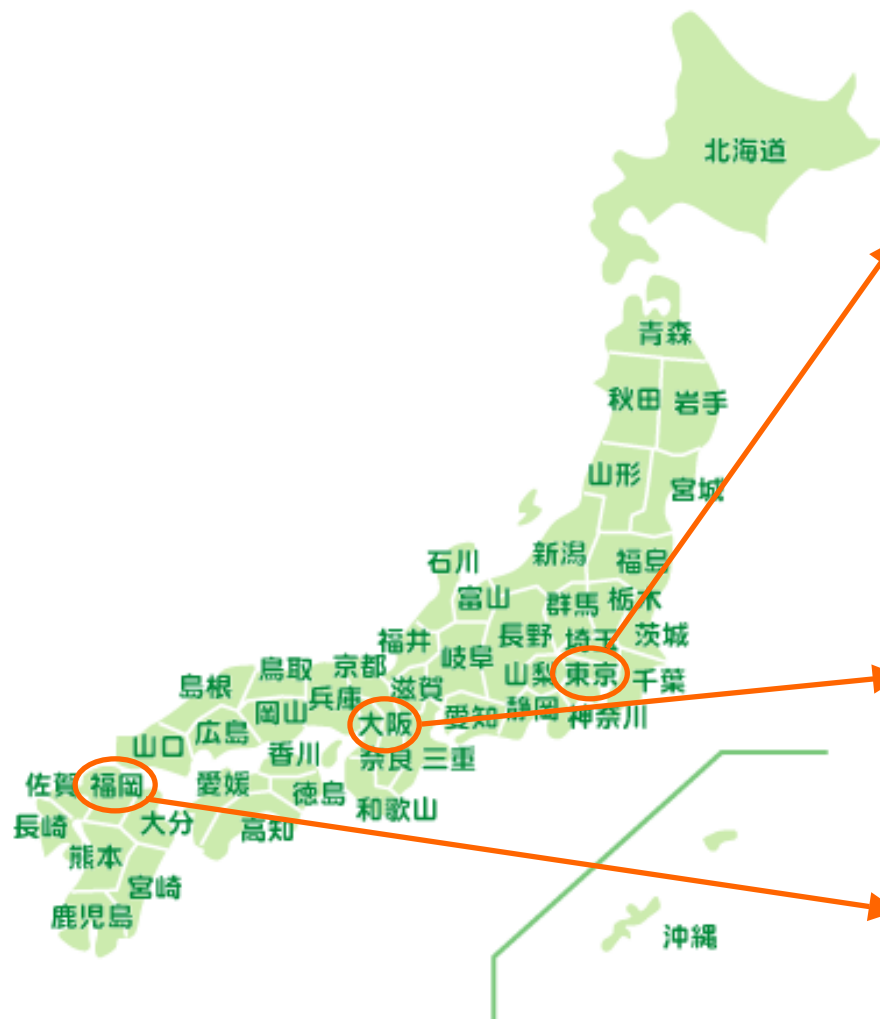
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、6月30日時点でのデータを元に作成しております。

# グループ概要



# 事業所



## <東京地区>

本 社:東京都新宿区大久保1-3-17  
渋谷支店:東京都渋谷区恵比寿4-3-8  
子 会 社:丸梅株式会社  
東京都中央区日本橋兜町7-2

## <関西地区>

大阪支店:大阪市北区曾根崎新地2-1-23  
難波支店:大阪市中央区難波4-4-4

## <九州地区>

福岡支店:福岡市中央区天神2-14-13

# 平成18年3月期決算について



# 平成18年3月期決算の概要

## <当社グループの営業成績>

改正商品取引所法(平成17年5月施行)による商品取引員に対する勧誘規制強化の影響や、値動きの激しかった石油市場の取引減少などで、当連結会計年度の全国商品取引所の出来高合計が10,780万枚(前年同期比20.0%減)と2年連続での減少となるなか、当社グループの業績も市場環境の影響を受け、次のとおり減収減益となりました。

営業収益	3,564百万円(前年同期比19.1%減)
経常利益	320百万円(同 62.6%減)
当期純利益	254百万円(同 47.7%減)



## <部門別の概況>

商品先物取引の受託業務は、金の取引が活況で貴金属市場の取扱は伸びたものの、勧誘規制強化の影響などで、石油市場や農産物市場の取扱が大きく落ち込み、受取手数料は2,889百万円(前年同期比13.8%減)となりました。特に貴金属市場の取扱を行っていない丸梅(株)(100%子会社)は大幅な減収となりました。

商品先物取引の自己売買業務につきましては、慎重に収益チャンスを狙い、農産物市場及び石油市場を中心に売買損益559百万円を確保いたしましたが、前年同期比では42.9%減となりました。

## <当期のトピックス>

商品ファンド販売開始(5月)・札幌支店閉鎖(9月)・八重洲支店閉鎖(10月)・ホームトレードの手数料改定(10月)・外国為替証拠金取引部門の営業譲渡(12月)

# 業績概況（連結）

（単位：百万円）	H17. 3期	H18. 3期	対前年比（%）
営業収益	4,406	3,564	80.9
内 受取手数料	3,394	2,948	86.9
営業利益	811	250	30.8
経常利益	857	320	37.4
当期純利益	486	254	52.3
一株当たり当期純利益	68.00円	35.12円	51.6
一株当たり純資産額	1,146.48円	1,208.47円	105.4
自己資本比率	48.4%	58.6%	(points) 10.2
ROE(株主資本利益率)	6.4%	3.1%	(points) ▲3.3
ROA(総資産利益率)	5.3%	1.7%	(points) ▲3.6

# 業績概況（個別）

（単位：百万円）	H17. 3期	H18. 3期	対前年比（%）
営業収益	3,108	3,039	97.8
内 受取手数料	2,195	2,391	108.9
営業利益	322	415	128.9
経常利益	389	510	131.1
当期純利益	238	395	165.8
一株当たり当期純利益	33.27円	55.62円	167.2
一株当たり純資産額	1,077.96円	1,160.45円	107.7
自己資本比率	57.3%	68.3%	(points) 11
ROE(株主資本利益率)	3.3%	5.1%	(points) 1.8
ROA(総資産利益率)	2.8%	3.7%	(points) 0.9



# 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	H17. 3期	H18. 3期	対前年比（%）
流動資産合計	12,436	9,898	79.6
内 現金及び預金	7,597	4,840	63.7
固定資産合計	3,848	4,269	110.9
内 投資有価証券	1,110	1,652	148.8
内 投資不動産	751	895	119.2
資産合計	16,285	14,168	87.0
流動負債合計	7,392	4,837	65.4
内 預り証拠金	6,702	4,390	65.5
固定負債合計	581	870	149.6
負債合計	8,400	5,864	69.8
資本合計	7,884	8,303	105.3
内 有価証券評価差額金	375	697	185.5

現金及び預金の減少等は、主に、委託者からの預り証拠金を(株)日本商品清算機構(改正商品取引所法に定められた商品取引清算機関)に全額預託する制度が導入されたことに伴うものであります。この変更に伴い、委託者の建玉決済時に売買損益と預り証拠金が清算されることとなったため、預り証拠金が減少しております。

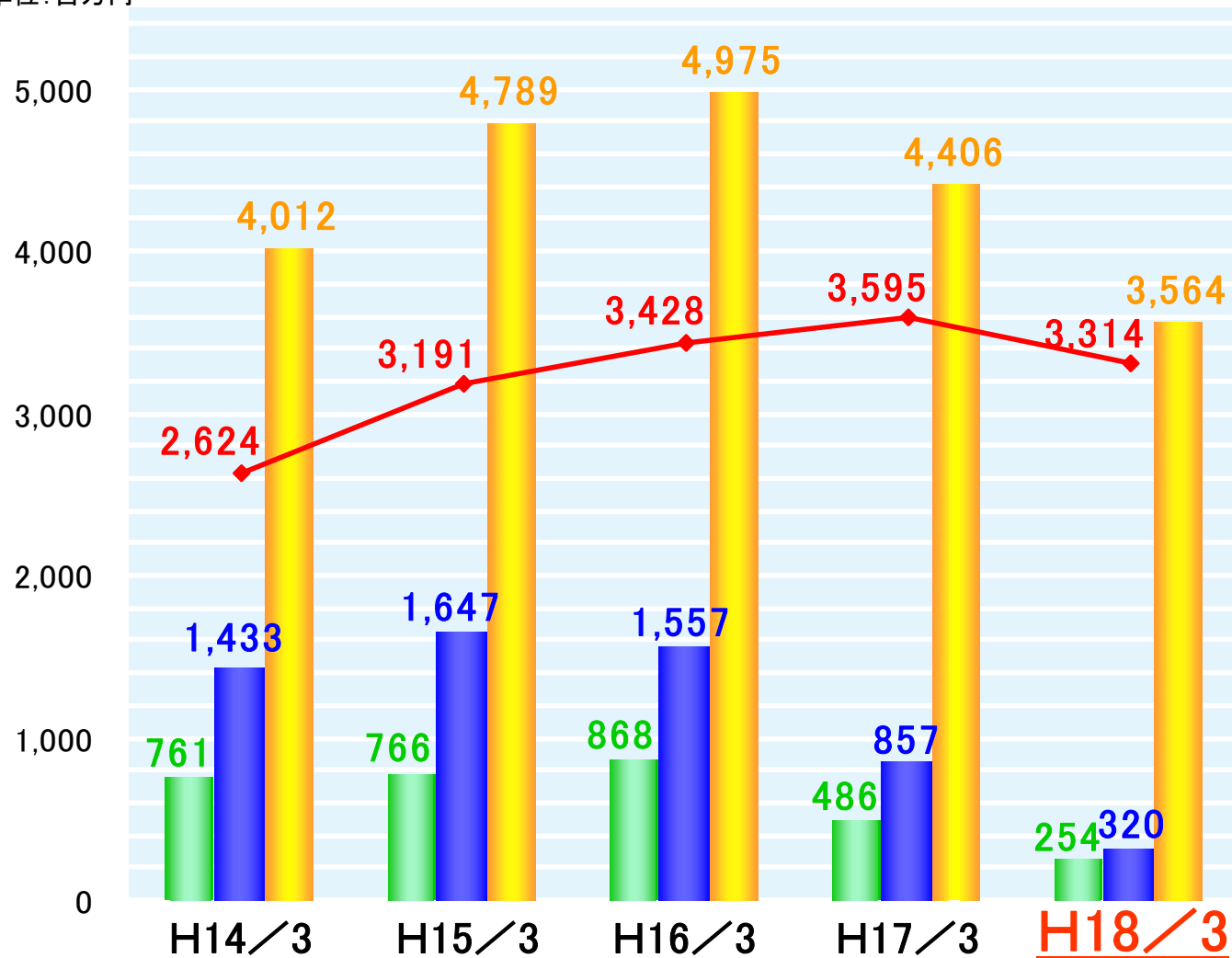
また、外国為替証拠金取引部門の営業譲渡に伴い、同部門の預り証拠金が前期比860百万円減少しております。

# 貸借対照表（個別）

（単位：百万円）	H17. 3期	H18. 3期	対前年比（%）
流動資産合計	8,848	6,961	78.7
内 現金及び預金	5,503	4,193	76.2
固定資産合計	4,079	4,719	115.7
内 投資有価証券	1,055	1,597	151.4
内 投資不動産	751	895	119.2
資産合計	12,928	11,681	90.4
流動負債合計	4,711	2,862	60.8
内 預り証拠金	4,275	2,456	57.4
固定負債合計	443	722	162.8
負債合計	5,523	3,707	67.1
資本合計	7,404	7,974	107.7
内 有価証券評価差額金	375	697	185.5

# 業績推移（連結）

単位：百万円



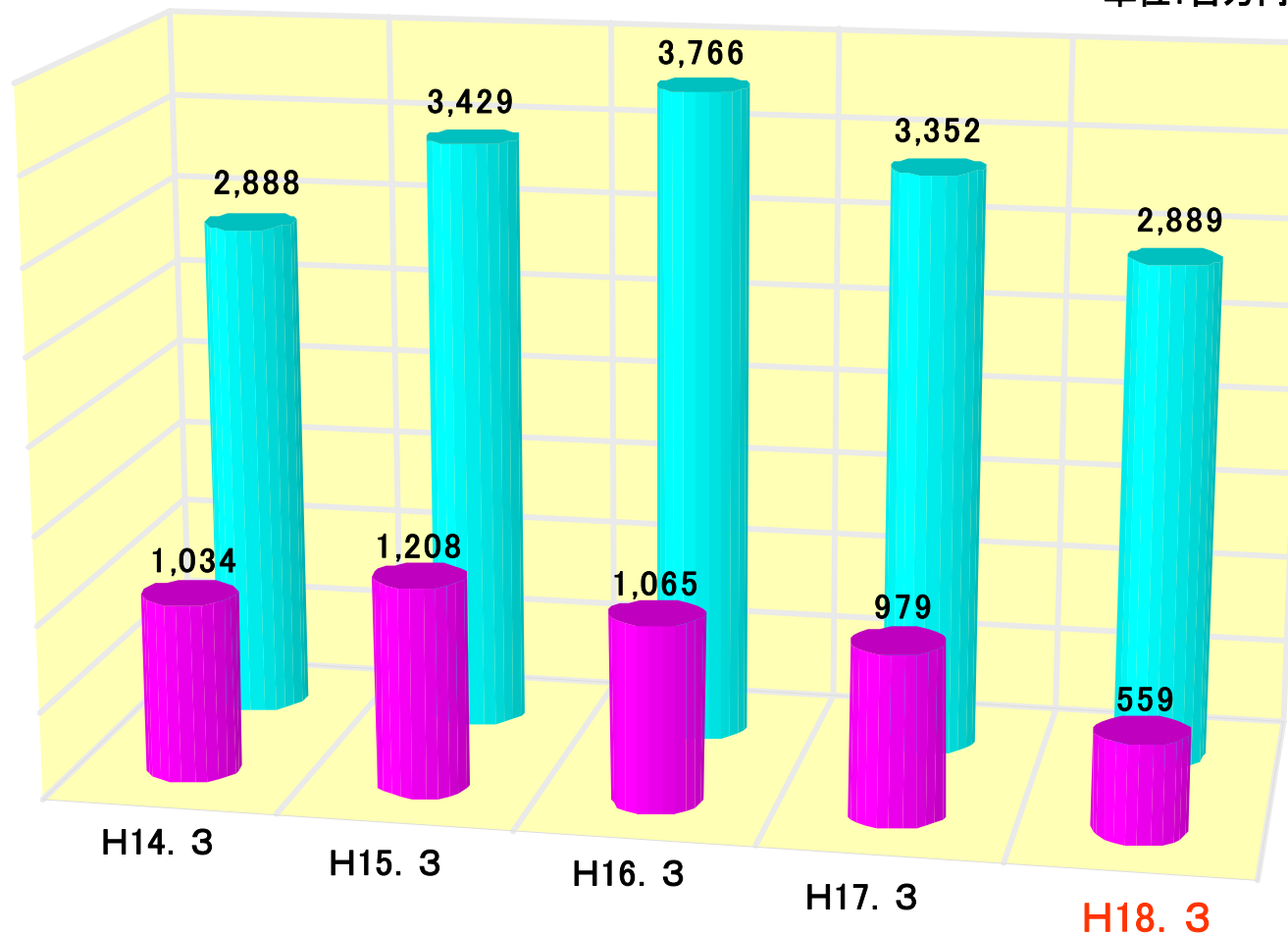
当社は平成15年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、それ以前は当社単独の業績を記載しております。

- 純利益
- 経常利益
- 営業収益
- ◆ 営業費用

# < 商品先物取引 > 営業収益の推移 (連結)

■ 自己売買損益
 ■ 受取手数料

単位: 百万円

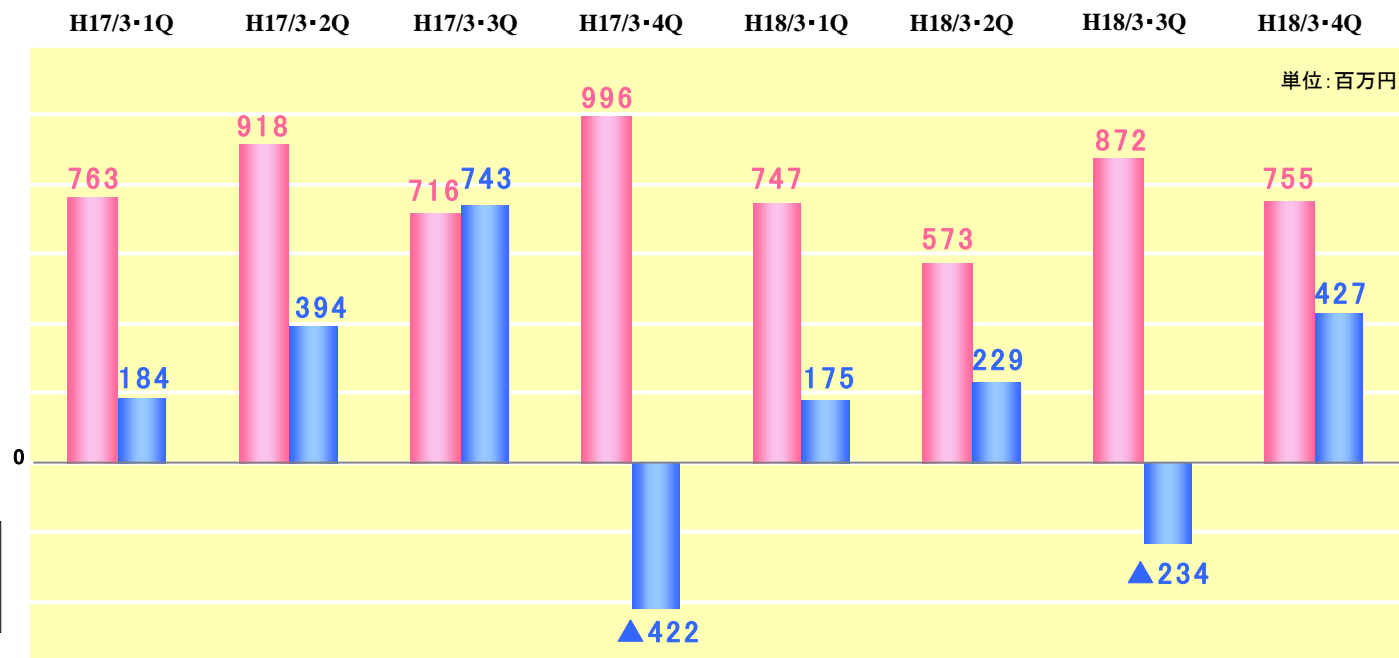


当社は平成15年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、それ以前は当社単独の業績を記載しております。

# 四半期ごとの営業収益の推移(連結)

当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動しております。

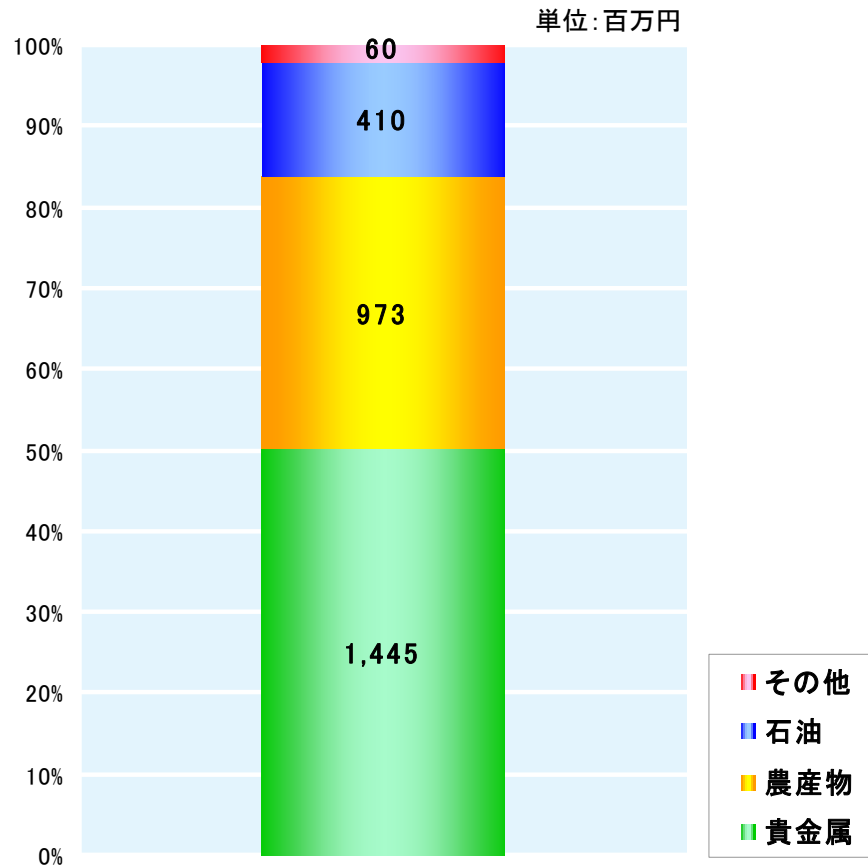
■ 受取手数料  
■ 売買損益



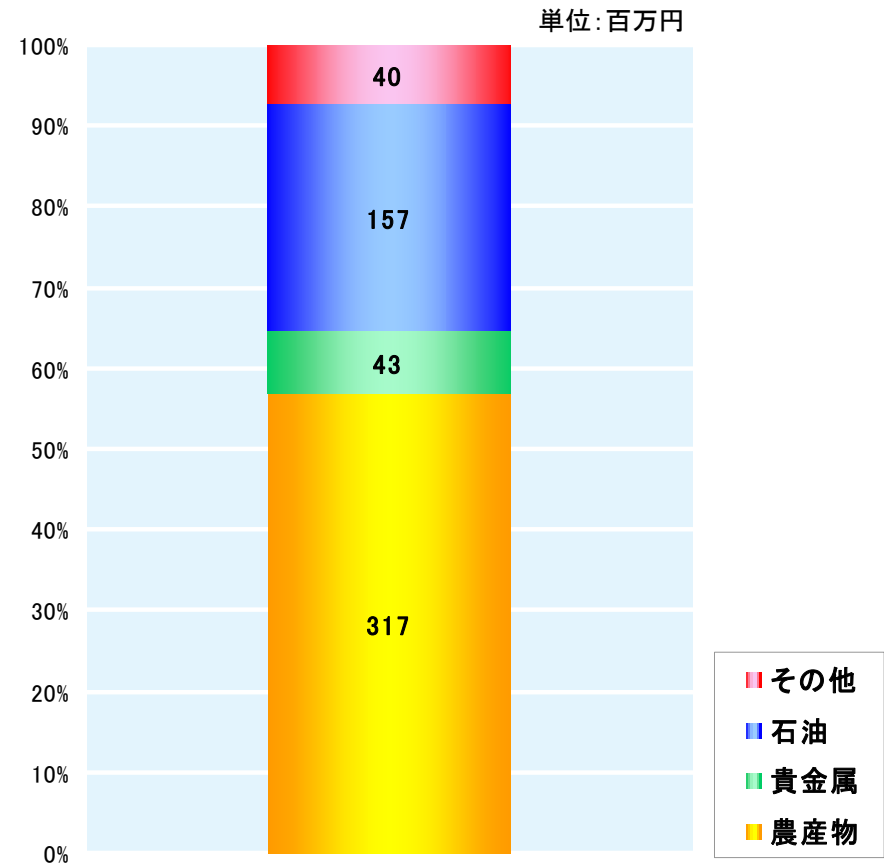
(単位: 百万円)	H17/3 1Q	H17/3 2Q	H17/3 3Q	H17/3 4Q	H18/3 1Q	H18/3 2Q	H18/3 3Q	H18/3 4Q
受取手数料	763	918	716	996	747	573	872	755
商品先物取引	752	908	707	984	734	553	847	754
外国為替証拠金取引	11	9	8	12	13	1	24	-
商品ファンド	-	-	-	-	0.0	0.4	0.3	0.8
売買損益	184	394	743	▲422	175	229	▲234	427
商品先物取引	179	391	735	▲425	168	215	▲252	427
外国為替証拠金取引	5	3	7	2	7	13	17	-
その他	3	2	3	3	5	6	5	-

# ＜商品先物取引＞営業収益の市場別内訳（連結）

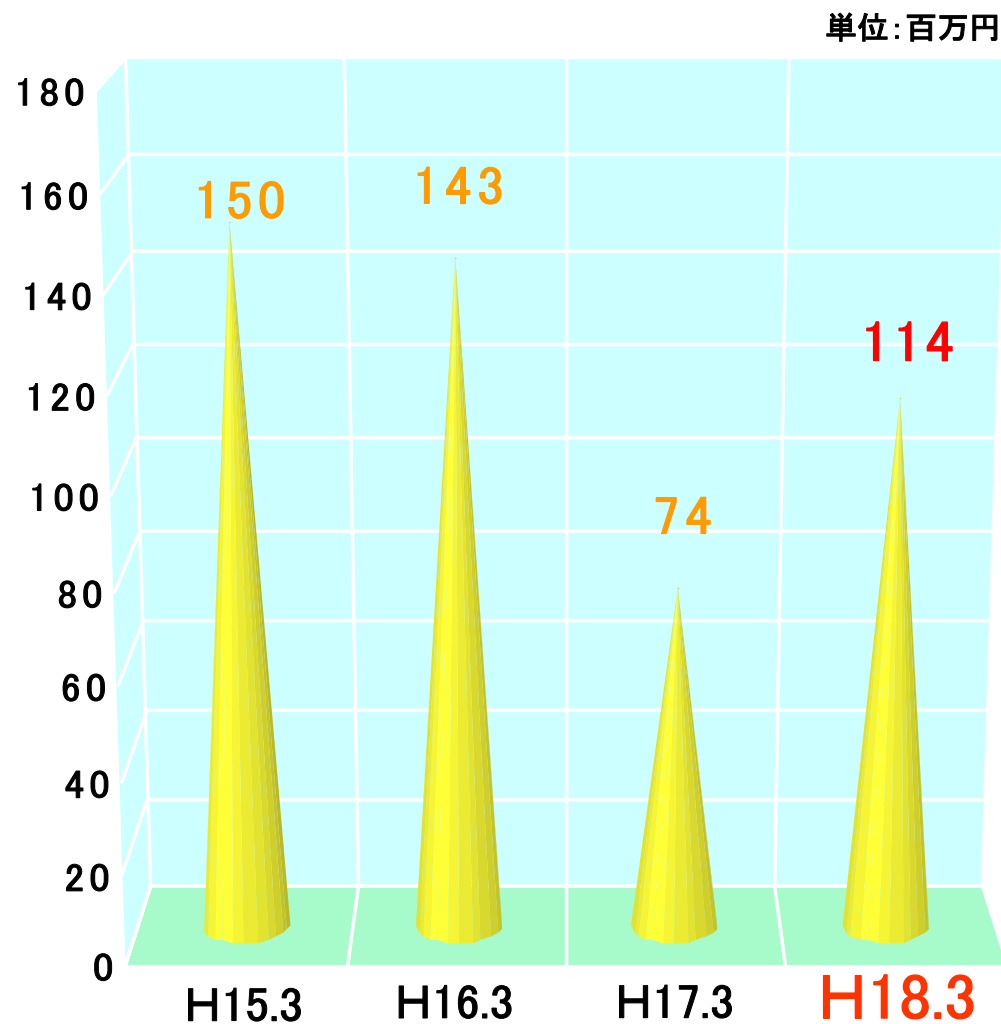
## 受取手数料



## 自己売買損益



## ＜外国為替証拠金取引＞営業収益の推移



外国為替証拠金取引は、平成17年12月31日をもって日本電子証券(株)(現：フェニックス証券(株) (株)小林洋行の100%子会社)に営業譲渡いたしました。

譲渡日までの営業収益は、ドル高傾向が続いたことなどにより、概ね好調に推移し、当連結会計年度の外国為替証拠金取引に係る営業収益は、左記の通り、114百万円(受取手数料57百万円、売買損益38百万円、その他18百万円)(前年同期比53.0%増)となりました。

# 平成19年3月期業績予想について

---





# 平成19年3月期業績予想(連結・個別)

## 連結

(単位:百万円)	H17. 9期実績	H18. 9中間予想	H18. 3期実績	H19. 3期予想
営業収益	1,737	1,788	3,564	3,576
内 受取手数料	1,320	1,450	2,948	2,900
経常利益	91	334	320	668
当期純利益	17	195	254	390
一株当たり当期純利益	2.49円	28.42円	35.12円	56.85円

## 個別

(単位:百万円)	H17. 9期実績	H18. 9中間予想	H18. 3期実績	H19. 3期予想
営業収益	1,385	1,353	3,039	2,706
内 受取手数料	1,017	1,050	2,391	2,100
経常利益	129	280	510	560
当期純利益	63	165	395	330
一株当たり当期純利益	9.30円	24.05円	55.62円	48.10円

# 平成19年3月期業績予想について

平成19年3月期の当社グループの業績につきましては、改正商品取引所法の収益への影響が一巡すると共に経費削減の効果が表れてくるものと考えており、

受託業務の受取手数料は、当連結会計年度並の予想（当社については、店舗閉鎖及び外国為替部門の譲渡の影響を考慮し減収予想、丸梅株については、当連結会計年度の不振からの回復を見込み増収予想）としています。

また、自己売買業務の売買損益は、引続き高水準の利益の確保を目指しておりますが、業績予想では当連結会計年度比微増としております。

なお、営業費用については、店舗閉鎖及び外国為替部門譲渡の効果並びに経費の見直しなどで3億円強の減額を図る予定です。

※当社の業績は、市場動向に左右されるため、結果が業績予想と大きく異なる可能性があります。

# 当社の取り組み

## 1. 商品先物取引受託業務の収益力維持

営業拠点の集約による効率化  
顧客サービスの向上のための社員教育の充実

## 2. 商品ファンドの販売 および オンライン取引の強化

商品ファンド（第2弾）「福祿寿」を販売開始（5月）  
ホームトレードシステムの改善（オンライン口座開設などを予定）

## 3. 自己売買部門の強化

ディーリング要員の育成

## 4. 営業収益に見合った費用構造の再構築

平成19年3月期の営業費用 前期比3億円削減  
（店舗閉鎖等の効果及び経費の見直し）

商品先物取引業界を取り巻く環境は、手数料の完全自由化や改正商品取引所法の施行により、当面、やや厳しい状況が続くと思われませんが、BRICsなどの需要増加による原油など国際商品への注目度の高まりや、市場の信頼性向上など取引環境の整備、などで、中期的には、わが国先物市場は発展していくものと考えております。

当社グループは、サービスの向上による顧客満足度のアップに努め、商品先物市場と共に、成長を目指します。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail: [keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp](mailto:keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp)